

福生市教育大綱を実現するために

情報技術の急速な発展、グローバル化の進展等に伴い、社会や生活が大きく変わる society 5.0 の到来が予想され、次代を担う人材の育成に資する教育へのニーズが高まっています。これに伴い、子どもたちが社会環境の変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや新たな価値を見いだしていくことが必要になっています。

子どもたちが、持続可能な社会の創り手として、成長する中で生きる力を育み、健やかに心身が成長できるよう、また、学力向上だけでなく、これからの社会で活躍できる能力を身に付けられるよう、時代の変化に応じた教育や学習・教育環境の整備等が必要です。

新学習指導要領等で求められている質の高い学びを実現するためには、幼児期の教育の充実に向けた支援をはじめ、特別な配慮を必要とする子どもに対する支援、一人ひとりに応じた教育の充実等、時代の変化に合わせた先進的な教育カリキュラムを実施が不可欠です。福生市では、質の高い幼児期の教育・保育の提供の支援に努めるとともに、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、様々な交流活動等を推進していきます。

また、施設の老朽化に伴う改修をはじめ、ICT整備、特別な配慮を必要とする子どもの学習環境整備等、子どもが安全・安心に学習が行える教育環境の充実に努めます。

歴史遺産や文化・芸術は、教育や生涯学習において重要な地域資源であり、市民共有の貴重な財産でもあります。このような地域資源を長期的かつ継続的に保全・活用します。

今後も、市民の学校教育への参画を図り、地域の実情に応じて、地域社会が主体的に子どもたちへの関わりを進め地域の方々の経験や知識を生かし、地域全体で子どもの成長を支える仕組みづくりが必要です。

「人を育み、夢を育む、未来につながるまち ふっさ」の実現に向けて市民の皆様と力を合わせ教育施策に推進してまいります。引き続きご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

令和2年 月

福生市長 加藤育男

福生市教育大綱

『福生市総合計画』が示す「目指すまちの姿」

人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ



「福生市基本構想」では、目指すまちの姿として「人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ」を掲げています。福生市に関わる人々が愛情と愛着をもって相互に尊重し、理解し合い、成長しながら、それぞれの生活の中で夢や目標を抱き日々を過ごしていくことで、福生市に多くの可能性と未来をもたらしている様子を表現しています。

また、その目指すまちの姿を実現するためのまちづくりの行動指針として、「生ま出す」、「守る」、「育てる」、「豊かにする」、「つなぐ」を設定しています。福生市教育大綱では、その目指すまちの姿の行動指針を実現するため、今後10年間の目指すべき教育の姿を福生市教育大綱として次のように定めます。

- 子どもたちの「確かな学力」、「豊かな人間性」及び「健康・体力」を基礎とする「生きる力」をはぐくむ学校教育を推進する。
- 市民のだれもが、あらゆる機会、あらゆる場所で学び続けることのできる社会の実現を図るため、生涯学習を振興する。
- 教育は、家庭・地域・学校の三者が互いに連携・協力し、責任を果たしてこそ、その成果があがるものとの認識に立って、市民が主体的に参加する地域全体での教育の向上に取り組む社会を目指す。

教育の出発点である就学前教育・保育から遊びを通じた学びに向かう力や豊かな人間性を育成します。また、主体的・対話的で深い学びを通して、自ら課題を見つけ解決していく確かな学力を育むとともに、他者への理解や思いやりを育むため、子どもたち一人ひとりに着目した質の高い教育の実現を目指します。

あわせて、子どもたちの能力や可能性を最大限に伸ばし、社会で輝く力を培うため、関係機関との連携をさらに進め、指導・支援体制の強化を行うとともに、変化の激しい社会で自分らしい生き方を実現するためのICT教育や情報活用能力の育成をさらに推進します。

- 1 確かな学力の向上と学びの基礎・基本の定着
- 2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進
- 3 一人ひとりのニーズに応じた教育機会の提供
- 4 社会の持続的な発展に貢献する力の育成

学校経営改革として学校における組織体制や教職員の働き方を見直すとともに、専門家など地域の多様な人材を活用した学校教育を支える取組を推進します。

また、子どもたちの質の高い学びの実